

2023国際ロボット展 に出展

イグス株式会社（東京都墨田区）は、2023年11月29日（水）から東京ビッグサイトで開催される国際ロボット展（リアル会場）に出展いたします。

イグスは、本展示会にてロボットの周辺環境を最適化するソリューションをご提案します。より低価格で導入障壁が低いオートメーション機器群『LCA(ローコストオートメーション)ロボット』に加えて、『多様なロボットに対応可能な3次元動作向けケーブル保護管』『撿回性能が示されている長寿命なロボットケーブル』を含めたエナジーチェーン・チェーンフレックスシリーズなど、幅広い製品を展示します。既にロボットを導入されている方も、ご検討中の方も、多くの皆さまのご来場を心よりお待ちしております。



2023 国際ロボット展 開催概要

会期：2023年11月29日（水）～12月2日（土） 10：00～17：00

会場：東京ビッグサイト

イグスのリアル会場小間番号：E1-14（東1～3ホール）

※事前に入場登録をすると入場料無料です。ご登録はこちらから。

<https://irex.nikkan.co.jp/>

以上

プレスリリース

2023年11月8日

イグス株式会社

〒130-0013 東京都墨田区錦糸 1-2-1 アルカセントラル 15 階

Tel: 03 (5819) 2030 (代表)

<https://www.igus.co.jp>

<プレスリリース・取材のお問い合わせ>

Tel: 03 (5819) 2057

Fax: 03 (5819) 2055

E-mail: mmineyama@igus.net

-イグスについて-

イグス(本社ドイツ)は、様々な産業機械や製品の可動部分に使われるエンジニアリングプラスチック製品の開発・製造・販売を行うグローバル企業です。プラスチックを開発・成形する確かな技術で、plastics for longer life®(↑寿命を延ばしてコストを下げる↓)を目標に、世界中のお客様にイノベーションと安全性を届けています。

当社は1946の創業以来、無潤滑高機能プラスチックを使用したケーブル保護管、可動ケーブル、樹脂ベアリングにおいて世界のマーケットをリードしており、近年はローコストオートメーションロボット、3Dプリント製品、インダストリー4.0向けの予知保全システム・スマートプラスチックなど、様々な製品を開発し事業ポートフォリオを拡大しています。

現在、世界80以上の国と地域の企業が製品・サービスを採用しており、2022年の売上高は9億6,100万ユーロ(約1500億円)に達しました。また、環境投資施策として、ドイツでは使用済みプラスチックのリサイクルプログラムや、プラスチックごみをオイルに還元するプロジェクトのサポートについても積極的に推進しています。

"igus", "Apiro", "chainflex", "CFRIP", "conprotect", "CTD", "drylin", "dry-tech", "dryspin", "easy chain", "e-chain", "e-chain systems", "e-ketten", "e-kettensysteme", "e-skin", "e-spool", "flizz", "ibow", "igear", "igliDur", "igubal", "igutex", "kineKIT", "manus", "motion plastics", "pikchain", "readychain", "readycable", "ReBeL", "speedigus", "triflex", "roboLink", "xirodur", and "xiros"は、igus GmbHの登録商標です。"dry-tech", "ジッパー", "isense", "smart cable chainflex", "e-skin", "xiros", "e-loop", "CFCLEAN"は、イグス株式会社の登録商標です。"Recycle" 及び "igus:bike"はigus GmbHの商標です。"e-chain"はイグス株式会社の商標です。